

# ほのぼの苑だより

題字：小野 キクエ 様



レインボー明徳の皆さん  
ありがとうございました

四月誕生会

四月の誕生会は、二十七日と二十九日の二日間に分けて行われました。

二十七日には苑外への散歩を予定していましたが、あいにくの天候で断念しなくはなりませんでした。そのため苑内の五月人形の前でご家族とともに写真撮影を行いました。短時間ではありましたが、誕生者の方々はご家族との温もりあるひと時を過ごすことができたのではないかと思います。

二十九日にはドライブを企画し、国花苑へ行ってまいりました。心配されていた天候も快晴で清々しい日でした。お花見をしつつ、出店でお土産を買ったりと春を満喫されている様子でした。帰苑されてからは、イチゴのタルトにアイスが添えてあるお誕生日ケーキをいただきました。皆さん、お口いっぱい頬張り、ニコニコと美味しそうに頂いております。そして誕生者の方全員にバースデーカードをプレゼントし、添えてある写真には皆様の笑顔がありました。

暖かい春の訪れとともに素敵な時間を共有できたかと思えます。

(武田 暁子 記)



デイケア お花見

四月二十八日、デイケアでは、大潟村にお花見へ行ってきました。少し風がりましたが、天気も良く花見日和の一日でした。

移動中は窓を開け、車内に風を入れると、暖かな風が心地よく、通苑者の方々も「気持ち良い風だな。」と喜んでおられました。今年は何年にも比べて桜の開花が早く、菜の花ロードでは、残念ながら桜の花は散り、葉桜となってしまうていましたが、目の前に広がる菜の花は、とても綺麗でした。

大潟村に着くと、サンルーラル大潟の菜の花畑にて記念撮影をしました。辺り一面に咲いた菜の花を目の前にし、「こんなに綺麗な景色見たこと無い。来て良かった。」と、通苑者の皆さんもとても喜ばれておられました。

デイケアでも通苑される皆さんに、ささいな事でも四季を感じ、喜んでいただけるように、今まで以上に良いサービスを目指していきたいと思えます。

(加藤 悠 記)



# ほのぼの苑 ちよつとイイ話

「ほのぼの苑 ちよつとイイ話」  
は、苑内での感動する話をご紹介します。  
するコーナーです。

## ちよつとイイ話

～ 四月の日誌・日記より ～

四月四日(金)

本日、朝より晴天で心地よい風が吹く、気持ちの良い一日となりました。送迎中の車内では桜のお話やふきのとうなどのお話して盛り上がり、四季に応じて、様々な会話がされていました。

これからの時期、桜が咲き、綺麗な光景や田植など地域を感じるお話などで盛り上げ、ほのぼの苑に着くまでの送迎車の中でも、楽しい時間を過ごしてもらえようように励んでいきたいと思えました。



四月九日(水)

ある入苑者の方の車椅子のタイヤの空気が抜けていたようで、ステーション内から空気入れを持ってきて、空気を入れると、スースーと空気の漏れる音がして、空気が入っていきません。同室の入苑者の方に「空気入れが悪いのよ」と教えていただき、別のステーションから空気入れを持ってきて入れると、あっという間に空気が入り、パンパンのタイヤになりました。入苑者の方が「昔は自転車のパンクくらい一人で直せたから困ったことがあつたら聞いて」と話され、頼もしい一面を知ることが出来ました。



四月十二日(土)

今日、ある入苑者の方の奥さまが面会に来られ、ステーション内で手を握ったり、一生懸命声をかけている姿を見て、「あ、ほのぼのしてるな」と思いました。今後、面会に来られるご家族と入苑者の方が落ち着いて、会話が出来るような空間作りをしていきたいと思えました。

四月二十三日(水)

特別養護老人ホーム「たんちよう」に移られる方のお見送りがあり、ホールでは涙のお別れをする姿が見られ、ジーンとする思いをしました。

入苑者同士で励まし合い、リハビリする姿等を思い出しました。これからも元気で過ごしていただければと願っています。



四月十五日(火)

本日は青空が顔を出し、窓から吹く風が心地良い一日でした。入苑者の皆さん、春を感じられた一日ではないかと思えます。

本日のおやつ時間に入苑者の方が嗜好されている飲み物をお出しすると大変喜ばれておりました。入苑者の皆さんが少しでも安らぎの時間を過ごせるよう、満足していただけるサービスを提供していけたらと思います。



### 第二十三回 家族会 議事録

第二十三回 家族会は、平成二十年四月七日(月)午後一時より、食堂にて『レインボー明徳によるヤートセ』の行事と合同で行われました。ほのぼの苑だよりの誌面に写真掲載し、行事の雰囲気をお伝えしたいと思います。五月の家族会は、五月十日午後二時二十分行われる避難訓練と合同で行う予定です。当日の様子につきましては、次号のほのぼの苑だよりの誌面に写真を掲載致します。お忙しい中とは存じますが、是非ご参加、ご見学下さいますよう、ご協力よろしくお願い申し上げます。



### 幸福

幸せとは何だろう。親のもとを離れ、右往左往しながらも一人での生活を過ごしていく中で、親となり、初めて家族が健康で過ごし、笑顔で日々の生活を送っていることの幸せを感じる事が出来た。

子育てとは、「人生楽ありや苦もある」の歌詞のように、何度となく「壁」にあたる事がある。でも気がつけば「瞳」がある。その瞳は、自分を心配し、そして私を守るべきものがあるという事に気がつかせてくれる。

ある人との会話の中で、「人は苦難に遭うと安易な方向が唯一、正しいのだ」と思い込み進もうとするが、それは結果としては回り道になる。何故かと言えば、乗り越えるべき試練が来たのに、それを避けると言うことは後回しにしたということ。今後の人生を生きしていく上で必ずまた同じ問題が起ころ。辛くても、もうムリだと思っても苦難に立ち向かう道を選んだ方がいい。」と。その言葉を聞いてから、自分に不運な出来事が起こった際、物事をマイナス思考しがちで、自分自身の思い込みからなかなか離れる事ができずにいたが、改めた考え方を知ることができた。これも幸せなんだと思う。自分の出来る事、自分が守らなければいけない人達を不幸にしてはいけないと、強く感じた。

マイナスの出来事と感じられる事をプラスの方向に持って行く強さを持ち

家族と過ごす時間を大切に、笑顔で過ごすように心掛けてられるようになった。

「人生楽ありや苦もあるさ」の歌詞を私は、「人生苦ありや楽もあるさ」と思えるようになった。不幸な出来事と思う事に遭遇した時でも、自分自身が成長していく上で、乗り越えられる試練と考えられるようになった。そう考えてきたら、幸せを感じる時が増えている事に気が付いた。

きっと本当は、周りに幸せが沢山あるのだと思う。周囲の人達からの優しさ感謝し、自分自身も周囲に優しさを持って接していけば、その沢山の幸せを感じ得ることが出来ると思う。

### ボツリと一言

五月も中旬を過ぎ、玄関ホールに飾られていた五月人形と鎧も役割を終え、眠りにつきました。圧倒的な存在感だった二つの品がなくなり、ホールも少し寂しげな感じがしておりますが、七夕飾りまで少しの間、ホールの飾り付けも休憩のようです。

### 発行



医療法人 正和会

介護老人保健施設 ほのぼの苑

〒018-1401

秋田県潟上市昭和久保字街道下 92-1

電話 018-877-7115

FAX 018-877-7481

ホームページ

<http://www.seiwakai-akita-no1.or.jp/>

編集責任者 加藤 稔樹

発行責任者 小林 顕